

## 第2学年 総合的な学習の時間 学習指導案

福岡市立城西中学校

教諭 古荘 次郎

1. 単元名 「食品ロスを減らすために ～私たちの身の回りに目を向けよう～」

### 2. 単元の目標

- 身の回りの食品ロスの現状や原因について理解することができる。 (知識・技能)
- 学校給食の残菜についての現状を知り、自分にできる食品ロスを減らす活動を考えることができる。 (思考力・判断力・表現力)
- 自分がまとめた食品ロスを減らす取り組みについて、新聞にして発表することができる。 (思考力・判断力・表現力) (主体的に学習に取り組む態度)

### 3. 単元について

#### (1) 教材観

本単元では、「食品ロスの現状の理解のためのガイダンス」、「タブレットを用いての食品ロスの現状と対策についての調べ学習」、「調べた内容をまとめたポスターセッション」、「栄養教諭による講話」を教材として取り上げる。

学年の全生徒を対象に学習前に食品ロスについてのガイダンスを行い、食品ロスについての現状を知ることにより、学習に向けての動機づけをすることができる。また、タブレットを用いて調べ学習をすることで、食品ロスについてより広い視野に基づいた学習を行うことができることが期待できる。なお、調べた内容を新聞にまとめ、ポスターセッションを行うことで、自分の考えをまとめ、聞き手にわかりやすい言葉で説明することで、内容についての深い理解を促すことができる。

また、本校には小学校区に栄養教諭が在籍しており、定期的に本校にも食育についての通信を発行したり、給食指導の巡回指導をしていただいている。給食への基本的な考え方や、給食センターで働く人たちの考え方を生徒に伝えていただくことで、食品ロスについて身近なこととして考えさせられることが期待できる。

#### (2) 生徒観

本学年の生徒は、第1学年において、社会人講話の事前、事後学習でポスターセッションを経験している。仕事について調べたり、講師から聞いた内容を聞き手にわかりやすくまとめ、発表したり質問したりすることによって、まとめた内容をさらに深く学ぶ体験を行っており、男女分け隔てることなく話し合う素地ができている。

また、タブレットで調べ学習をすることも日常的に行っており、スライドをつくったり、新聞にしたりする活動も経験している。

なお、第1学年の学期当初に、栄養教諭から給食についてのガイダンスを受けており、給食献立の考え方や必要なカロリー、食材の調達、給食センターでの調理まで、どのような流れや考え方、そこで働く人たちの思いなども知ることができている。

#### (3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず、学年の全生徒向けに、食品ロスについての生徒用図書の内容

をスライドにまとめ、それを生徒に提示する。このことを通して、普段身近に感じることの少ない食品ロスについて考えるきっかけをつくる。

次に、各自のタブレットを用いての食品ロスの現状や対策についての調べ学習を行わせるとともに、本校の給食の残菜が給食センターの平均の1.5倍に達している現状を知らせることで、学校で身近にできる食品ロスを減らす取り組みを考えさせる。

また、自分でまとめた内容を新聞にして聞き手にわかりやすく説明させることで、食品ロスについてのより深い理解が期待できる。

なお、栄養教諭による講話を行っていただくことで、自分が調べたり、他の生徒から学んだりしたことをさらに深く学びなおすことができるのではと期待できる。

また、生徒会活動として給食委員会とも協力して、残菜を減らす取り組みを行っていくことで、食品ロスを減らす取り組みを継続的にこなっていく。

#### (4) ESDとの関連

##### ・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

相互性…食品ロスが大量に発生している現状では地球環境に大きな負荷をかけてしまうことということ。

連携性…消費者も地球全体のことを考えることが大切であること。

有限性…食糧生産は有限であり、異常気象等で今後の食糧生産の持続可能性が危ぶまれるということ。

責任性…私たち自身が食生活や消費行動を変えていくことが大切であること。

##### ・本学習を通して育てたいESDの資質・能力

###### クリティカルシンキング

私たちが日常的に何となく消費している食料が有限であり、しかも私たちは大量の残菜を残していることの重要性と私たちの現状を批判的に考えることができる。

###### 未来像を予測して計画を立てる力

地球全体の人口が増えていく一方で、持続可能な食料生産が異常気象等で困難になることを考えると、世界の食品ロスの現状は見過ごすわけにはいかない、私たちの問題であることに気付くことができる。

###### つながりを尊重する態度

食料生産から消費まで、様々な人や自然環境が関わっていることに気付き、さらに学習を深めていこうとする態度を養う。

##### ・この学習を通して育てたいESDの価値観

###### 世代内の公正

食品ロスの現状を考えることで、食品ロス問題が自分自身の問題であることに気付き、給食の食べ残しを減らすなど、自分たちの行動を改めていこうとする態度や、食に対する価値観が変容していくと考える。

###### 自然環境、生態系の保全を重視する。

食料生産は有限であり、急速な食料生産の拡大は、自然環境に対する負荷を大きくすることに気付くことができる。

・達成が期待される SDGs

- 2. 飢餓をゼロに
- 3. すべての人に健康と福祉を
- 10. 人や国の不平等をなくそう
- 12. つくる責任つかう責任
- 15. 陸の豊かさも守ろう
- 17. パートナリーシップで目標を達成しよう

4. 単元の評価規準

| (ア) 知識及び技能  | (イ) 思考力・判断力・表現力等   | (ウ) 主体的に学習に取り組む態度  |
|---|--|--|
| <p>①食品ロスの現状について理解している。</p> <p>②学んだり調べたりして獲得した知識を、言葉や図、絵などを用いてそれらに関係づけながらまとめる技能を身につけている。</p> | <p>①食品ロスを減らすために、学校給食や家庭でできる取り組みを考えることができる。</p> <p>②まとめた内容を新聞にしてわかりやすく表現することができる。</p> | <p>①ガイダンスや栄養教諭の講話を意欲的に聞くことができる。</p> <p>②まとめた内容を新聞にまとめポスターセッションをし、聞き手に意欲的にわかりやすく説明しようとしている。</p> |

5. 単元の指導計画 (全6時間)

| 学習活動  | ○学習への支援  | ○評価・備考                                     |
|---|--|--|
| <p>1 食品ロスの現状についてのガイダンスのスライドを見て、今後の活動への見通しをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人当たり一日茶碗1杯分の食品が食べられるのに捨てられている。</li> <li>・世界の人口がさらに増えていくのに、このままでは食糧生産が追いついていかない。</li> <li>・食品ロス分は燃焼して処分させるために、地球温暖化の一因ともなる。</li> </ul> | <p>○「知ろう！減らそう！食品ロス 全3巻」(小林富雄監修、小峰書店、2020年)を参考にしたスライドを提示し、食品ロスが世界的な問題であることに気づかせ、家庭や学校における食品ロスを減らす取り組みへの意義を見い出させる。</p> <p>○Youtube から「【アベプラが考えるSDGs】世界で年間13億トン以上！“食品ロス問題”(2020年12月14日)」、「SDGs 動画シリーズ_ゴール2_飢餓をゼロに」などの動画を視聴させ、食品ロスの現状についての理解を促す。</p> | <p>(ウ) ①<br/>(主体的)</p>                     |
| <p>2 ワークシート(別紙)に、タブレットを用いて食品ロスの何が問題かを調べ、自分たちにできる対策は何かを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の残菜率は給食センター平均の1.5倍もあり、食べ残しが多いことに驚いた。</li> <li>・給食の残菜が残らないようにつぎ分けたり、食べきれない分はあら</li> </ul>                                 | <p>○ワークシートに、食品ロスの現状や原因、そして何が問題になっているのか、また、それを減らすためにどのような取り組みができるかを書き込めるように項目を設け、考えやすいように工夫する。</p>  | <p>(ア) ①<br/>(知・技)<br/>(イ) ①<br/>(思判表)</p> |

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>かじめ戻して、食べたい人にお替わりをさせるなどの工夫もできそう。</p>  |   |  |
| <p>3 栄養教諭の講話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食は、必要な栄養やカロリーが適切にとれることを目標にしているんだ。</li> <li>・給食が私たちのところに届くまで、いろんな人の思いや手作業が関わっているんだ。</li> <li>・今まで好き嫌いをして簡単に残したりしてきたけど、もう少し頑張ってみよう。</li> </ul> | <p>○本校の栄養教諭に講話を依頼し、いろいろな人が給食に関わり、いろいろな願いや思いをもって給食を作ってくださっていることを生徒に理解させる。</p>                              | <p>(ウ) ①<br/>(主体的)</p>                     |
| <p>4 調べたり聞いたりしてきたことを新聞にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうまとめたら読み手や聞き手にわかりやすく説明できるかな。</li> <li>・図や絵を使って読みやすく工夫してみよう。</li> </ul>   | <p>○新聞の構成例を提示し、読み手や聞き手にわかりやすくまとめる工夫をするよう促す。</p>   | <p>(ア) ②<br/>(知・技)<br/>(イ) ②<br/>(思判表)</p> |
| <p>5 ポスターセッションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の発表を聞くことで、自分では気づかなかった視点があった。</li> <li>・読み手や聞き手にわかりやすく説明する工夫ができたかな。</li> <li>・うまいまとめ方ができている友だちのことを参考にしたい。</li> </ul>                         | <p>○生活班内で発表し合い、その中でまとめ方や発表の仕方が上手だった生徒にクラス内で発表させる。</p> <p>○できた新聞はクラス前の廊下に掲示し、保護者参観でも見ていただくことができるようにする。</p> | <p>(ウ) ②<br/>(主体的)</p>                     |
| <p>6 活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食委員会の取り組みでも残菜を少しでも減らせるようにクラスでも工夫してみよう。</li> <li>・家庭でもできる食品ロスの取り組みを続けていきたい。</li> </ul>  | <p>○今後の活動へ連続・発展させていかなるために、生徒会活動としての取り組みにも着目させるようにする。</p>  |  |